

川公務員ゼミナール

公務員学科・公務員特別学科(初級・高卒公務員受験クラス)

授業計画書

Syllabus

この授業計画書は、本校ホームページにも掲載します。<http://www.kumamoto-koumuin.info/>

学群	A				
授業科目	数的推理A				
担当者	我部 健, 篠原 憲司郎				
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>【授業内容】 公務員試験の独自科目である数的推理(数的処理), 数学および資料解釈について学びます。 (数的推理, 資料解釈) 獲得目標は「様々な公式や解法を理解し, 正確で素早い解答能力を身につける」ことです。各単元の重要事項を学び, 問題に応じて解法を使い分けられることができるように学習していきましょう。また, 計算については連立方程式レベルの計算力が求められますので, 計算が苦手な学生は計算力の向上にも努めてください。</p> <p>(数学) 出題頻度が高い2次関数を中心に, 三角比, 1次関数, 及び, 基本的な計算(展開, 因数分解, 平方根)を学習します。苦手な人でも取り組めるよう基礎から学んで行き, 実践問題を学習することで得点力を養います。週テストでは, 重要問題を出題, 本試験での得点アップを目指します。</p> <p>【科目別の授業内容(カッコ内:授業時数の目安)】 ○数的推理(計44時間) 虫食い算・魔方陣・素因数・カード・割る数と余り(8), 方程式・不等式・整数問題・平均算・仕事算・集合(9) 割合・濃度・対比・利益(6), 速さ(6), 場合の数・確率(7), 時計算・記数法(2), 総合演習(8) ○数学(計44時間) 2次関数(18), 三角比(11), 基本的な計算(15) ○資料解釈(計22時間) 指数(2), 増加率(3), 割合(2), 実数(7), その他のグラフ(2), 総合演習(6)</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	A				
授業科目	判断推理A				
担当者	村山歌奈子, 霍口信明				
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>判断推理Aでは、判断推理、判断推理図形を扱います。</p> <p>【判断推理/60時間】公務員試験において必須・重要科目です。 その名の通り、与えられた条件を元に論理的に推論していきます。出題内容を全15項目に分類し、例題解説→演習のサイクルで各パターンの基本的な取り組み方をマスターします。週テストでは、教科書で扱った問題を変形して出題し、丸暗記によらない得点力を求めます。 基礎演習終了後は、出題パターンが混在する演習プリントを通して応用力をつけ、本番試験での得点につなげます。 授業ではグループ学習形式をとり、学生間で互いに説明しあうことで学習効果を高めます。 特に「命題・論理」「対応関係」「順位順序」「比較」を重点的に扱います。 [授業]基礎編・・・項目別解法マスター(計35時間)、演習編・・・複合問題(計25時間)</p> <p>【判断推理図形/20時間】 ガイダンス(1時間) 図形分野12項目をそれぞれ解法のポイントをマスターします(12時間) 例題の解説→演習のサイクルを繰り返しながら、各項目を修得します。 その後、応用問題を含め、総合演習で実力をつけます。(7時間)</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	A				
授業科目	文章理解A				
担当者	村山歌奈子、霍口美枝				
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>文章理解Aでは、現代文、古典、英文、語彙、文芸について学びます。</p> <p>【現代文】初級・高卒程度公務員試験において必ず出題される分野です。文章を読むことに対する苦手意識を払拭し、現代文を確実な得点源にするための演習・解説を実施します。また、随時、現代文読解のためのテクニックも提示します。初回:ガイダンス(公務員試験における国語分野の出題について)、第2～5回:現代文の出題ジャンル別解法について、第6回以降:過去問を使用した演習(基礎編～実践編)。</p> <p>【古典】国家型試験で出題されます。過去問演習を通して、実戦的に古文を読む力を培います。また、古典常識等の知識も身につけます。</p> <p>【英文】初級・高卒程度公務員試験において必ず出題される分野です。長文読解に対応できる力をつけるため、毎時間テーマ毎に単語・熟語・構文を解説し、週テストで定着度をチェックします。また、イデオムプリントを作成し、学生が自主的に英語の勉強ができるようにしています。さらに、英語の専門試験が課される学生や難関試験を受験する学生に対しては、カリキュラム外で英語の専門授業を実施し、より各学生のニーズに応じた指導体制を確保しています。</p> <p>【語彙】国家型試験等で出題されます。「漢字の読み書き」「四字熟語」「ことわざ・慣用句」「故事成語」など、ボリュームはありますが、覚えていれば短時間で得点できる分野です。出題を分析し、重要語句に絞ったオリジナル教科書を使って、漢字のもつ意味や、語の成り立ちから意味を理解できるような講義を行い、語彙力アップを狙います。週テストでも重点的に出題し、反復演習を通して定着を図ります。</p> <p>【文芸】文芸が出題される試験は少ないですが、覚えていれば確実な1点となる内容です。出題頻度の高い内容のみをとりあげ、また、日本史・世界史とも関連づけながら講義をします。</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	A				
授業科目	社会科学A				
担当者	小宮康				
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>初級・高卒程度公務員受験の主要科目である政治経済分野について、頻出分野に特化した授業を行います。授業は板書を中心に進めます。板書内容には1つのムダもないため、ノートに落とし込んだ内容を完璧にインプットするとともに、週テスト(アウトプット)では100点満点を目指して学習に励んでください。また、実際に起こっている政治的・経済的な事象について理解し、論理的に考えるきっかけとなる授業を目指します。</p> <p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理・思想(10時間) 国家観の変遷、各国の政治制度(3時間) 日本国憲法・総論(2時間) 基本的人権(4時間) 国会(4時間) 内閣・裁判所(4時間) 地方自治(2時間) 政党と選挙制度(4時間) 国際社会(6時間) 資本主義と社会主義(2時間) 現代の企業(3時間) 市場の理論(3時間) 国民経済と景気変動(3時間) 日本経済史(3時間) 金融と日本銀行(3時間) 租税と財政(3時間) 国際経済(3時間) 労働者の権利(1時間) 社会保障制度(1時間) 総復習と過去問演習(16時間) 					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者に対して、週テストの成績により評価する。					

学群	A				
授業科目	人文科学A				
担当者	福島頌之、佐藤直也				
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>初級・高卒程度の公務員試験合格を目標に、「世界史」「日本史」「地理」の頻出分野を中心に授業を行います。センター試験のような細かい内容は行わず、無駄を省いた板書で授業を進めます。また、週テストで得点してもらうために、図表の読み取りなども行います。高校時代に選択していない科目があるとは思いますが、一から丁寧に教えていきますので安心してください。本試験に向けて1点にこだわる勉強を効率よく行っていきましょう。</p> <p>【授業計画】</p> <p>《世界史》40時間 古代文明(3時間)、古代ヨーロッパ(5時間)、中国史(9時間)、イスラーム世界(4時間)、中世ヨーロッパ(3時間) 近代ヨーロッパ(2時間)、市民革命(6時間)、帝国主義(3時間)、第二次世界大戦後(5時間)</p> <p>《日本史》35時間 旧石器～古墳(3時間)、飛鳥～奈良(4時間)、平安(3時間)、鎌倉(3時間)、室町(3時間)、安土桃山(2時間) 江戸初期～江戸中期(4時間)、江戸末期～明治初期(5時間)、大正(3時間)、昭和～平成(5時間)</p> <p>《地理》35時間 地形(4時間)、気候(4時間)、農業(2時間)、水産業(1時間)、資源(3時間)、工業(2時間)、人口(2時間) 都市(1時間)、国家・民族(2時間)、貿易(1時間)、環境問題(3時間)、アジア地誌(2時間)、 ヨーロッパ地誌(2時間)、アメリカ地誌(2時間)、オセアニア地誌(2時間)、アフリカ地誌(2時間)</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	A				
授業科目	自然科学A				
担当者	内藤一則				
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>物理・化学・生物・地学の各科目について授業を行います。 広範囲の内容ですが、頻出単元やキーワードなどを意識して説明を行いますので、授業に集中して取り組んでください。</p> <p>教科書の演習問題を授業中にすべて扱うことは時間の都合上できません。自習用教材として使用してください。 ※すべての科目でプリントを使用します。必ず科目別にファイリングしてください。</p> <p>科目別の授業内容は以下の通りです(カッコ内は授業時数)</p> <p>物理(計30時間)・・・電気と電子(4)、音と光(2)、運動と力(9)、エネルギー(5)、演習(10) 化学(計30時間)・・・物質の構成(4)、物質の性質(8)、物質の量(8)、演習(10) 生物(計30時間)・・・生命の維持(7)、調節と反応(8)、生命の連続と展開(5)、演習(10) 地学(計20時間)・・・地球(5)、宇宙(5)、気象(5)、演習(5)</p>					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群C			
授業科目	法と社会			
担当者	【刑事法】岡田行雄、【憲法】徳永達哉			
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数 1
学期	後期			
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修			
授業内容・獲得目標				
【刑事法】この講座のテーマは、刑法、刑事訴訟法等からなる刑事法と、公務員・行政、そして基本的人権保障との関わりです。各回は、まず、憲法に基づく刑事法の原則を前半にお話して、それがいかんにして犯罪者、被疑者・被告人、さらには犯罪被害者をも支えるものとなるはずか、後半では、それが原則通りではない現実をお話します。この授業を受けることを通して、公務員として被疑者、被告人、犯罪者、そして犯罪被害者をいかに支えるべきかを考えることを期待しています。				
【憲法】憲法の意義を市民革命と社会契約に引き付けて解説した後、日本が直面している人権侵害について検討します。				
授業コマ	授 業 計 画			
第1回 憲法	1	①憲法とは国家の基礎法である。		
	2	②憲法で国家を縛る立憲主義を理解する。		
第2回 憲法	3	③自律した個人による社会契約を理解する。		
	4	④平等とは等しく自由であることを理解する。		
第3回 刑事法	5	刑法の歴史や日本国憲法に基づく刑法の諸原則がいかんにして犯罪者の人権をも保障しているのかについて説明します。		
	6	日本の刑罰法令の使われ方が、刑法の諸原則からかけ離れ、犯罪者だけでなく私たちの人権を危うくしている現状をお話します。		
第4回 刑事法	7	憲法・刑事訴訟法に基づき、捜査の対象となる被疑者の人権がどのように保障されるべきかについてお話します。		
	8	警察官による捜査の問題点を通して、日本国憲法を順守し、国際的にも評価される警察官を支えるべきことについてお話します。		
第5回 憲法	9	⑤権利の性質と、その範囲と限界を見定める思考力を養う。		
	10	⑥人権相互の矛盾と衝突の調整に必要な思考力を養う。		
第6回 憲法	11	⑦信教に関する憲法問題を検討する。		
	12	⑧差別に関する憲法問題を検討する。		
第7回 刑事法	13	憲法・刑事訴訟法に基づき、刑事裁判にかけられる被告人の人権がどのように保障されるべきかについて説明します。		
	14	被告人が99.9%有罪となる実態とその背景だけでなく、日本国憲法に基づき被告人を支える重要性についてお話します。		
第8回 刑事法	15	日本国憲法に基づく受刑者と犯罪被害者の権利保障の在り方について説明します。		
	16	受刑者・非行少年と犯罪被害者の置かれている現実を踏まえて、受刑者・非行少年・犯罪被害者の被害の埋め合わせが必要なことをお話します。		
学科試験について				
【刑事法】授業内容を理解できたかを測るため、持ち込みなしで、選択肢から1つを選ぶ問題とカッコ内に適語を選択し記入する問題からなる単位認定試験を実施します。				
【憲法】憲法の条文説明に関する知識を確認します。そのために、用語解説、○×問題、記述式問題による単位認定試験を実施します。持ち込みはなしです。				
成績評価の方法				
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。				
備考				

学群	専門科目群 学群C			
授業科目	くらしと人権			
担当者	【人権】後藤富和、【民法】三谷仁美、【労働法】霍口信明、【ハンセン病】動画、【人権グループディスカッション】動画			
授業の方法	講義	授業時数	16	単位数 1
学期	後期			
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修			
授業内容・獲得目標				
【人権】憲法尊重擁護義務を負う公務員として、人権及び憲法への理解を深める。				
【民法】今年の私のキーワードは、「バランス」。科目名である「民法」から少し距離をおき、広く社会一般に起こっている出来事を民法の視点でながめてみたいと思います。授業では、グループワークを中心に様々な意見に触れる機会を設けたいと考えています。				
【労働法】仕事をする(働く)=労働者→弱い立場 このことは現代社会の中でどのような問題が起こるかを指摘することにより労働者が弱者として経営者に対して対処するための基本的知識を身につける。特に一般労働者と公務員との立場の違いを明らかにすることから労働法の重要性を認識して欲しい。				
【ハンセン病】ハンセン病について、知っていますか？特段人にうつりやすい病気でもなく、完治しない病気でもないのに、国の政策によって隔離されていた病気です。なぜそういうことが起こったのか、そして患者の方たちは、どんな思いだったのか、そして行政はどのような対応をとったのか、皆さんも知って、そして考えて下さい。				
【人権グループディスカッション】人権とは、人が人として、その社会の規範の中で自由に考え、自由に行動できる権利です。しかし、現在の世の中ではその権利を様々な角度から侵害しています。今年度は高齢者の人権及び職場の人権を考えグループディスカッションを行います。				
授業コマ	授 業 計 画			
第1回 民法	1 2	SDGsって、よく目にするけれど、そんなに重要なもの？		
第2回 ハンセン病	3 4	ハンセン病回復者として伝えたいこと(動画) グループワーク		
第3回 人権	5 6	人権と憲法、特に立憲主義の理解 憲法尊重擁護義務の理解		
第4回 民法	7 8	多様性って、多くの人が叫んでいるけれど、そんなに良いものなの？		
第5回 労働法	9 10	・労働関係の基本的な知識について(憲法、労働基本法、労働組合法、労働関係調整法など) ・労働問題はなぜ起こる ・公務員の労働条件と労働三権について		
第6回 民法	11 12	格差って、どうにかしなきゃみたいな風潮だけれど、無い方がいいの？		
第7回 人権動画	13 14	地域で認知症の人を支える(動画) グループワーク		
第8回 人権動画	15 16	ハラスメントのない安心・安全な職場作り(動画) グループワーク		
第9回 労働法	17 18	・派遣労働・貧困・格差社会について考える(DVD)		
第10回 民法	19 20	差別って、良くないことみたいだけれど、なぜ無くならないの？		
学科試験について				
【人権】レポートによる評価				
【労働法】記述式、持ち込み不可、授業内容と、配布プリントを中心として作問します。試験内容については授業中に説明します。				
【民法】学科試験に代わり、レポート課題に取り組んで頂きます(締め切りは1/27正午)。配点は、レポート課題50点、受講票コメント20点(4回×各5点)の計70点で算出します。				
【ハンセン病】レポート及びグループディスカッションによる評価				
【人権グループディスカッション】レポート及びグループディスカッションによる評価				
成績評価の方法				
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。				
備考				

学群	専門科目群 学群C				
授業科目	地域と行政				
担当者	【五木村】土屋望生、【水俣病】田尻雅美、【水俣市】設楽聡、【公務員の心構え】山下慶一郎、【エネルギー(原発)】九州電力、【エネルギー(脱原発)】西索兄、【防災】村山歌奈子				
授業の方法	講義	授業時数	16	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
【公務員の心構え】私は、熊本県庁職員として30年以上の実務と、荒尾市においては副市長、市長の経験があります。この講義では、公務員は全体の奉仕者であること、職業人としての姿勢、心構え、公務員の職の魅力、やりがい、一方では厳しさについて実際の体験を踏まえてわかりやすくお伝えをします。					
【エネルギー(原発)】九州電力の方においでいただき、原子力発電の必要性や安全性、今後の日本のエネルギー事情を説明いただきます。また、エネルギーに関してグループワークを行い、他者の意見の吸収もはかりましょう。					
【防災】前期の職種研究で「防災の基礎知識」を扱いました。後期はさらに過去の災害からの教訓を学びます。今後地域防災の担い手となる皆さんとともに、誰一人取り残さない防災について具体的に考えます。SDGsゴール11、13。					
【水俣まちづくり】「水俣病」という世界に類例のない産業公害を経験した水俣市における市民協働の地域再生・振興に係る取組をとおして、コミュニティの重要性、人と人との結びつき、地域資源を活かしたまちづくりについて学びます。さらに、このような実践により「SDGs未来都市」に選定された水俣市の新たな地域経営を紹介し、これからの公務員に必要な不可欠なSDGsについても考えることとします。					
【水俣病】将来に何をどう活かすのかを考え、公務員として弱い立場の人を支え、地域、社会に貢献する一人として、日本社会全体をとらえる視点、世界全体の中から日本をとらえる視点につながることを目的とする。					
【五木村】住んでいる人が満足する市・町・村を作るためには、行政の施策やその実行が重要ですが、民間の団体や企業との連携がより重要です。五木の事例をもとに民間とどのように連携するとどんなことが起きるのかを解説します。					
【エネルギー(脱原発)】①原子力発電の基礎知識をつたえる。②2011年3月11日の東北地震と福島第一原発事故を振り返る。③原発と未来を考える。グループ座席にして、一方的な講義ではなく意見や疑問がやり取りされる時間を過ごしてもらおう。					
授業コマ	授業計画				
第1回 公務員の心構え	1 2	熊本県庁及び荒尾市役所での行政実務経験を踏まえて、これから公務員になる皆さんに職業人としての心構えを伝えます。			
第2回 エネルギー(原発)	3 4	各発電の仕組み、日本のエネルギー情勢、カーボンニュートラルに向けた取り組み 今後のエネルギーについて(グループワーク)、川内原子力発電所バーチャル見学			
第3回 防災	5 6	国土と災害の歴史。過去の災害からの教訓。「災害弱者」の視点。 「自助」について～ハザードマップやマイタイムライン。備蓄。			
第4回 防災	7 8	「共助」「公助」「対応力」について 「防災×SDGs」について			
第5回 水俣まちづくり	9 10	水俣市の事例を用いて、地域問題解決型・地域資源活用型のまちづくりについて学習します。また、本時の後に予定されている水俣病に関する授業、現地を訪れるフィールドワークにつながる内容とすることで、受講生の水俣病に対する認識が、より深まるようになります。			
第6回 水俣病	11 12	水俣病公式確認から64年の過去を振り返り、教訓とは何か、負の遺産としての水俣病を改めて捉える。 水俣病患者の視点から、補償・救済制度を検証する。			
第7回 五木村	13 14	五木村の辿ってきた歴史。行政の判断で五木がどのような影響を受けてきたのかを村内の目線、村外の目線で読み解く。一人ひとりの公務員がどのような動きをし、村民、村外の人々はそれをどう評価してきたのか。 ここ3年、五木村の行政はどのように民間と連携してきたのか、その中で何が生まれてきたのか。これからの五木村について、激しい行政の意思決定の中で、行政は何をしていくべきなのか。			
第8回 エネルギー(反原発)	15 16	①原発の歴史・仕組み・現状について質疑応答する。②原発事故の有様を確認する。 ③10年後の福島をドキュメントする動画の視聴後、感想を述べあう。			
フィールドワーク	【五木村方面】【水俣市方面】:両コースとも1月20日(金)				
学科試験について					
【水俣まちづくり】空欄補充による問題(一部記述式の場合あり)。授業で配布する資料に記載された事項から出題することとし、資料の持込は不可とします。					
【防災】各回の受講票への記入内容で評価。詳細は初回授業時にて説明します。					
【水俣病】レポート「水俣病の教訓とは何なのか」、ご自身の意見、考えを述べてください。(1,000字以上) 締切2023年1月24日(火)					
成績評価の方法					
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。					
備考					

学群	専門科目群 学群C				
授業科目	現代社会の理解				
担当者	【社会福祉入門】藤藪貴治、【国際関係】阿部悠貴、【税と社会保障】福島頌之、【SDGs】西索兄、【選挙】選挙管理委員会				
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
【社会福祉入門】 ①貧困の責任はどこにあるのか？ あなたは、同じ20代の若者が「貧困」に陥り苦しんでいることを知っていますか。多くの職種の公務員が「貧困」問題を解決する責務がありきたいされていることを知っていますか。本授業では昼は「日雇い派遣」という不安定な労働を強いられ、夜は「ネットカフェ」で寝泊まりするという、路上生活に近い生活を送っている28歳の男性と18歳の女性のいわゆる「ネットカフェ難民」の姿から、どのようにして公務員が「貧困」問題に取り組んでいくべきかを考えます。 ②体験・公務員のお仕事 公務員とは、「法律を解釈し、執行する」の仕事をする者をいいます。では具体的にどのような仕事を求められるのでしょうか？ 民間の仕事とどう違うのでしょうか？ 生活困窮者を救い、自立に導く、福祉事務所の生活保護ケースワーカーの仕事を経験してもらって、公務員の仕事の在り方を考えます。					
【国際関係】この授業では今日の社会で見られる様々な問題について検討していきます。特にアメリカで見られる「社会の分断」や、日本の政治の特徴、選挙制度について一緒に議論していきたいと思います。					
【税と社会保障】SDGsの目標の中で、「貧困をなくそう」、「人や国の不平等をなくそう」、「住み続けられるまちづくりを」という目標があり、本講義では、日本の税や社会保障がSDGsの目標に貢献できているかを考えていきたいと思います。また今日、円安が進んでおり、社会保障等への影響を見ていきたいと思います。					
【選挙】今年度は、参議院議員選挙や熊本市長選等の地方選挙が多く行われた年です。近年若者の投票率が下がっているため、選挙の講義や模擬投票を通して選挙の重要性を学びます。					
【SDGs】①公務員として必要な基礎知識と現状認識をしっかりと持ってもらいます。②なぜ今、「SDGs」がマスコミ挙げで頻りに登場しているのか考えてもらいます。③民間、地域からできる「SDGs」の取り組みを知ってもらいます。					
授業コマ	授 業 計 画				
第1回	1	アメリカの政治制度：11月の中間選挙とは何だったのか			
国際関係	2	アメリカの共和党、民主党：今日の変化			
第2回	3	選挙管理委員会による選挙の重要性			
選挙	4	模擬投票			
第3回	5	日本政治の特徴：憲法九条などについて			
国際関係	6	戦後補償とアジア諸国：なぜ今日も問題になるのか			
第4回	7	「ネットカフェ難民」のビデオを視聴する			
社会福祉	8	どのような救済方法があるかを知る			
第5回	9	なぜ憲法25条は、生存権の保障を国民の権利とし国の義務と規定しているかを考える			
社会福祉	10	公務員となったときに、どのようにして「貧困」問題に立ち向かうべきかを考える。			
第6回	11	①まず「SDGs」の定義を確認します。今なぜ「SDGs」が喫緊の課題なのか考えます。②「SDGs」を啓発するTV番組の録画を視聴して理解を深めます。③国や地方自治体の取り組みはどんなものなのでしょうか。政府SDGs推進本部の「SDGsアクションプラン2021」の概略を整理します。熊本市の取り組みを知ります。			
SDGs	12				
第7回	13	日本の選挙制度：昔はどのような選挙が行われていたのか			
国際関係	14	日本政治の特徴：近年の傾向に着目して			
第8回	15	給与明細→基本給、各手当、控除の内容と種			
税と社会保障	16	給与表の見方と決められ方			
第9回	17	税の種類、税の計算、源泉徴収、確定申告(所得税・住民税)			
税と社会保障	18	税の歴史、税の役割			
第10回	19	社会保障の内容、社旗保障の種類、社会保障の当てられ方			
税と社会保障	20	年金の種類、年金の役割、年金の課題、公務員の福利厚生			
学科試験について					
【社会福祉入門】授業の際の感想文で評価します。					
【税と社会保障】講義内容による試験を実施します。○×問題や計算問題等を出題します。持ち込み不可。					
【国際関係】授業の内容について質問する予定です。持ち込みは不可としますが、授業内容を復習してもらえれば分かる問題を用意しています。					
【SDGs】学科試験を実施します。講義で配布した資料の中から重要な語句についての知識定着を問います。					
成績評価の方法					
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。					
備考					

学群	専門科目群 学群C				
授業科目	人間と情報・文化A				
担当者	【オフィスマナー】橋本絵鯉子、【メディアリテラシー】永島順子				
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
【オフィスマナー】社会人に求められるコミュニケーション力を高めるには、自らの課題は何か発見し、その課題を改善する実行力が必要です。ここでは具体的に会話力、傾聴力、対応力(来客対応、電話対応、名刺交換等のビジネスマナー)や 報告・連絡・相談の重要性について学び、実践できることを目指します。					
【メディアリテラシー】政治に国際情勢、事件事故、街のちょっとした話題に芸能・エンタメ、スポーツ……。さまざまなメディアから日々、大量のニュース・情報が送られてきます。しかし、その中には、根拠のないデマやフェイクニュースも紛れ込んでいます。正しい情報を自分の目で見極め、判断していくためにはどうしたらいいのでしょうか。今回の授業は、一人一人が自分の目でメディアを読み解き、活用するための第一歩。具体的な事例を元に、私たちがメディアにどう影響を受けているのかを見つめ直し、改めてメディアとの向き合い方を考えていきます。					
授業コマ	授 業 計 画				
第1回 マナー	1	コミュニケーションは言葉だけで成立するものではありません。実は表情や態度や声の表現が加わってより良いコミュニケーションとなるのです。表現力を高める方法を学びます。社会人としての挨拶、名刺交換の方法を学びます。			
第2回 マナー	3 4	(言葉遣い)職場内外で、敬語の使い分けが必要です。正しい敬語を理解し、更に言葉の工夫と、クッション言葉(マジックフレーズ)を使うことで印象良い会話力を身に付けます。			
第3回 マナー	5 6	(話す力)円滑なコミュニケーションには、話す力が必要です。話しの組み立て方、構成技法を知ること、印象良く分かりやすい目的に応じた話しができるようにします。			
第4回 マナー	7 8	(聴く力)コミュニケーションに費やす時間は、話すことより聴くことが多いと言われています。より良いコミュニケーションを図るためには傾聴力を高めることが求められます。傾聴技法を学ぶことで聴く力を身に付けます。クレーム対応も聴く力が問われます。			
第5回 メディア	9 10	【メディアの影響を考える】グループワーク 今年起きた大きな事件を事例として、▼そのニュースを何によって知ったか、どう感じたか▼その後のニュースによって、感じ方は変わったか……など、メディアと自分との関係を考える。 ▼さまざまなメディアの特徴 ▼フェイクニュースの見抜き方などについて、新聞やウェブメディアの制作現場の裏話も交えながら解説。			
第6回 マナー	11 12	(電話対応)携帯電話とは違う職場の固定電話の対応がスムーズに出来ず、印象を悪くしたり、クレームに繋がることもあります。取次ぎ方や、不在者対応など具体的な実践をしながら、印象の良い電話対応を学びます。			
第7回 マナー	13 14	(指示対応)仕事は指示を受けることから始まります。指示の内容を的確につかみ、報告までの注意点を確認します。仕事に必要な報告・連絡・相談について学びます。			
第8回 メディア	15 16	【メディアと広報、個人情報】グループワーク……個人情報とは何かを考える ▼国や熊本県その他の広報の指針、ガイドラインを解説。行政広報の在り方、「実名公表」の問題などについて考える。			
学科試験について					
【オフィスマナー】学科試験として、配布資料の中から、記入、または選択式で出題します。職場で実践するために必要な、基本知識を確認するものです。資料の持ち込みはできません。					
【メディアリテラシー】簡単な選択式試験(一部、記述式も)。持ち込み不可、出席して授業を聞いていれば回答できる設問。					
成績評価の方法					
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。					
備考					
【メディアリテラシー】 ①アンケートの結果を見た上で、授業内容は多少変えることもあります。 ②テレビ熊本で月曜22時からオンエア中の「エルピスー希望、あるいは災いー」はメディアのあり方や報道責任に迫る社会派ドラマです。関心のある方は観てください。					

学群	専門科目群 学群C			
授業科目	人間と情報・文化B			
担当者	【PC操作】小宮康			
授業の方法	実習	授業時数	16	単位数 1
学期	後期			
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修			
授業内容・獲得目標				
PC端末と文書作成・表計算等のソフトウェアの操作は、社会人として必須のスキルです。ウェブサイト閲覧以外にパソコンの機能に触れたことがない学生は、是非本講座を受講し、新しい職場でパソコンの前に着席した際、うろたえたり、大切なデータを消失してしまったりすることがないようにしましょう。				
授業コマ	授 業 計 画			
第1回	1 2	文書作成①:文字入力の基本 タイピング練習		
第2回	3 4	文書作成②:課題作成1-受験案内 タイピング練習		
第3回	5 6	文書作成③:課題作成2-模擬試験実施要項 タイピング練習		
第4回	7 8	文書作成③:課題作成3-年賀状 タイピング練習		
第5回	9 10	表計算①:セルの書式設定の基本-罫線、網掛け、セルへの入力 タイピング練習		
第6回	11 12	表計算②:課題作成4-授業計画書 タイピング練習		
第7回	13 14	表計算③:課題作成5-採用試験の詳細 タイピング練習		
第8回	15 16	総合:関数の基本(合計、平均)、課題作成6-家計簿 タイピング練習		
学科試験について				
なし				
成績評価の方法				
出席状況と課題の出来映えにより評価する。				
備考				
※各自USBメモリを購入すること。				

学群	専門科目群 学群C				
授業科目	人間と社会				
担当者	【学童保育】神田公司、【子どもの貧困】西素兄、【体育】福島頌之				
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
【子どもの貧困】①公務員として必要な基礎知識と現状認識をしっかりと持ってもらうことが目的です。国や自治体による対策施策の中身と、根拠となる法律を確認します。②問題意識として、なぜ子どもの貧困が重大なのかを考えてもらいます。③「子どもの貧困」を取り上げているTV番組録画を視聴して実態を知ってもらいます。					
【学童保育】学童保育(放課後児童クラブ)を通して、学童保育が求められる社会の背景を考え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う小学校の休校の中で改めて注目を浴びた学童保育(放課後児童クラブ)の制度と国・都道府県・市町村の役割を考えます。さらに、夏休みに発生したクラスターを検証し、学童保育(放課後児童クラブ)の抱える課題を考えます。また、学童保育での1日の生活を通して「育成支援」とは何かについても考えます。					
【体育】スポーツを行うにあたって大切なのはチームワークとコミュニケーションです。特に体力系公務員は単独行動は行わず、複数人で行動します。また、全ての業種において課題解決のためにコミュニケーションが必須となります。スポーツを通して、話したことない学生を中心に話す練習をしましょう。					
授業コマ	授 業 計 画				
第1回 体育	1 2	授業ガイダンス及び実技 ※県立体育館使用			
第2回 子どもの貧困	3 4	①最近「自助」ということが頻繁に語られるようになりましたが「貧困」であることは自己責任なのか議論してもらいます。②私たちの社会が「貧困」を生む原因について考え、議論してもらいます。どうして「子どもの貧困」が重要なのでしょうか？③「子どもの貧困」の実態をTV番組の録画を視聴します。			
第3回 体育	5 6	実技 ※県立体育館使用			
第4回 体育	7 8	実技 ※県立体育館使用			
第5回 学童保育	9 10	学童保育(放課後児童クラブ)とは何か。学童保育の現状。新型コロナウイルス感染拡大に伴う小学校休校やクラスターが発生したことで明らかになった学童保育の課題 学童保育(放課後児童クラブ)の目的と制度			
第6回 学童保育	11 12	学童保育(放課後児童クラブ)の一般原則と子どもたちの権利を擁護する法令や条約、とりわけ2023年4月から発足する「こども家庭庁」の課題、おなじく2023年4月から公布される「こども基本法」の内容 学童保育(放課後児童クラブ)に通う子どもたちの育成支援(あそびを中心とした)			
第7回 体育	13 14	実技 ※県立体育館使用			
第8回 体育	15 16	実技 ※県立体育館使用			
学科試験について					
【学童保育】学童保育の制度と求められる社会の背景について確認します。そのため答えの一覧から()を埋める形式にします。持ち込みはなしです。					
【子どもの貧困】学科試験を実施します。講義で配布した資料の中から重要な語句についての知識定着を問います。					
【体育】レポート及び授業態度による評価。授業時に課題を提示します。					
成績評価の方法					
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。					
備考					

学群	E				
授業科目	表現A				
担当者	チューター				
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>自己PR、志望動機、就職してチャレンジしたい分野、興味関心のある新聞記事など、面接試験における主要テーマについて考察、発表をする授業です。他者に分かりやすく、はっきりと情報を伝達する表現力の基本を培うことを獲得目標とします。また、「面接・作文ノート」の作成を通して、作文試験・面接試験のための材料集め・整理など、2次試験の「土台」をつくりあげます。</p>					
成績評価の方法					
出席状況と発表内容により評価する。					

学群	E			
授業科目	職種研究A			
担当者	チューター、橋本絵鯉子			
授業の方法	講義	授業時数	30	単位数 1
学期	前期			
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修			
授業内容・獲得目標				
<p>総合的・実践的な2次試験対策の授業です。「公務員観の醸成」を目標とし、公務員就職への動機をよりいっそう深めます。「職種紹介」担当・チューター(10時間)……公務員の活躍分野が多岐にわたることを知る 「公務員の役割・本質」担当・チューター(5時間)……憲法や地方自治法を出発点に、公務員の役割・本質を考察する 「まちづくり」担当・チューター(5時間)……少子高齢化、防災、地域振興など、公務員が直面する具体的な事例を知る。 「面接スキル」担当・橋本絵鯉子(5時間)……入退室練習、発声練習、身だしなみなど「好感の持てる面接スキル」を学ぶ。 「模擬面接」担当・チューター(5時間)……職種理解の度合いを模擬面接を通して確認・評価する。</p>				
成績評価の方法				
出席状況(50%)、発表内容、提出物(50%)により評価する。				
備考				
実務経験のある教員(橋本絵鯉子)による授業。現在はフリーアナウンサーとして、熊本県の情報発信ラジオ番組などに出演している。アナウンサーとしての経験をもとに、他者に的確に・分かりやすく・説得力のある話し方のスキルを伝える。(5時間)				

学群	E				
授業科目	実践演習A				
担当者	チューター				
授業の方法	演習	授業時数	50	単位数	2
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
初級・高卒程度公務員試験向けの総合的な1次試験対策です。国家公務員型、市町村型、県庁・政令指定都市型など、公務員試験の類型に応じた実践演習問題を行います。					
成績評価の方法					
出席状況と発表内容により評価する。					

学群	G				
授業科目	数学 I				
担当者	村山歌奈子、篠原憲司郎、我部健				
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>前期で学習した数的推理Aを履修している前提で、演習中心の授業を行います。 頻出分野である「速さ」「場合の数」「確率」を主なテーマとし、数的推理図形や資料解釈の演習も行います。 多くの学生が苦手な分野を扱うので、授業に集中し、ポイントをおさえて学習していきましょう。 前期の数的推理Aの復習を併せて行うのも効果的です。</p>					
成績評価の方法					
出席点と学科試験の得点により評価。					
備考					

学群	G				
授業科目	数学Ⅱ				
担当者	霍口信明				
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>数学Ⅱでは、「判断推理」「判断推理図形」を扱います。 前期で実施した判断推理Aの内容をベースに、次年度公務員試験および、12月以降の追加募集試験に対応する力を養うための演習を行います。いずれも、基礎・重要事項に的を絞った内容です。</p>					
成績評価の方法					
出席点と学科試験の得点により評価。					
備考					

学群	G				
授業科目	理科 I				
担当者	西索兄、内藤一則				
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>前期の自然科学Aを履修していることを前提に授業を進めます。 頻出・苦手分野に絞って、1時間ずつ単元を決めて演習、解説を行っていきます。 演習がメインとなるため、各単元の演習前の説明は最低限の内容となります。 まとめプリントを使用し説明する形となりますが、必要であれば授業後、各自で復習を行ってください。教科書は必要ありませんが、授業中手元にあると、より理解しやすいと思います。</p>					
成績評価の方法					
出席点と学科試験の得点により評価。					
備考					

学群	G			
授業科目	社会 I			
担当者	小宮康、福島頌之、佐藤直也			
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数 1
学期	後期			
対象	公務員特別学科(1年)は必修			
授業内容・獲得目標				
社会科学A、人文科学Aの受講を前提とし、12月以降に実施される公務員試験での1次試験合格を目標に、頻出分野を中心とする基本事項の確認と演習を行う。				
成績評価の方法				
出席点と学科試験の得点により評価。				
備考				

学群	G				
授業科目	文章理解 I				
担当者	村山歌奈子、霍口美枝				
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1
学期	後期				
対象	公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>文章理解 I では、現代文、英文、語彙について学びます。 次年度だけではなく、12月以降の追加募集試験にも対応できる得点力をつけることが目標です。前期の文章理解Aで学んだ内容をベースに、演習を通して実戦力を養います。</p> <p>[授業内容]</p> <p>現代文…過去問演習(5時間) 英文…時制・受動態・助動詞・仮定法(1時間)、不定詞・動名詞・関係詞(1時間)、比較・接続詞・否定(1時間)、長文読解(5時間) 語彙…漢字・ことわざ・慣用句(2時間) 作文(1時間)</p>					
備考					
実務経験のある教員による授業。村山歌奈子の前職は高校教員(国語科)。霍口美枝の前職は高校教員(英語科)					

学群	G			
授業科目	数的推理B			
担当者	我部 健, 篠原 憲司郎			
授業の方法	講義	授業時数	110回	単位数 4
学期	前期			
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修			
授業内容・獲得目標				
<p>【授業内容】 公務員試験の独自科目である数的推理(数的処理), 数学および資料解釈について学びます。 (数的推理, 資料解釈) 獲得目標は「様々な公式や解法を理解し, 正確で素早い解答能力を身につける」ことです。各単元の重要事項を学び, 問題に応じて解法を使い分けることができるように学習していきましょう。また, 計算については連立方程式レベルの計算力が求められますので, 計算が苦手な学生は計算力の向上にも努めてください。</p> <p>(数学) 出題頻度が高い2次関数を中心に, 三角比, 1次関数, 及び, 基本的な計算(展開, 因数分解, 平方根)を学習します。苦手な人でも取り組めるよう基礎から学んで行き, 実践問題を学習することで得点力を養います。週テストでは, 重要問題を出題, 本試験での得点アップを目指します。</p> <p>【科目別の授業内容(カッコ内:授業時数の目安)】 ○数的推理(計44時間) 虫食い算・魔方陣・素因数・カード・割る数と余り(8), 方程式・不等式・整数問題・平均算・仕事算・集合(9) 割合・濃度・対比・利益(6), 速さ(6), 場合の数・確率(7), 時計算・記数法(2), 総合演習(8) ○数学(計44時間) 2次関数(18), 三角比(11), 基本的な計算(15) ○資料解釈(計22時間) 指数(2), 増加率(3), 割合(2), 実数(7), その他のグラフ(2), 総合演習(6)</p> <p>※1年前期の数的推理A, 1年後期の数学 I を履修していることを前提に授業を行っていきます。 1年生のときに学習した内容から, さらに短時間で正確に処理できることを目指します。 複数の解法について学んで自身にあったやり方を見つけたり, 解法の適用について試行錯誤したりなど, 学生の皆さんにも積極的に取り組んでいただきたいと思ひます。</p>				
成績評価の方法				
出席状況と週テストの成績により評価する。				
備考				

学群	G			
授業科目	判断推理B			
担当者	村山歌奈子、霍口信明			
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数 3
学期	前期			
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修			
授業内容・獲得目標				
<p>判断推理Bでは、1年次の判断推理A・数学Ⅱの授業内容をベースに、演習を通して公務員試験で確実に得点できる力を養います。また、授業はグループ学習形式で行うため、1年次の学生(初学者)に対して推論過程を説明する役割を担ってまいります。</p> <p>【判断推理/60時間】基礎編・・・項目別解法マスター(計35時間)、演習編・・・複合問題(計25時間)</p> <p>【判断推理図形/20時間】 ガイダンス(1時間)、図形分野12項目の解法のポイント(12時間)、応用問題を含めた総合演習(7時間)</p>				
成績評価の方法				
出席状況と週テストの成績により評価する。				
備考				
実務経験のある教員(霍口信明)による授業。前職は高校教員(数学科)。				

学群	G			
授業科目	文章理解B			
担当者	村山歌奈子、霍口美枝			
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数 3
学期	前期			
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修			
授業内容・獲得目標				
<p>文章理解Bでは、現代文、古典、英文、語彙、文芸について学びます。いずれも、1年次の文章理解A、文章理解Iで学んだ内容をベースに、公務員試験での実戦力を養うための演習を行います。さらに、正答を導き出すまでの過程を他学生に説明する、という機会を設け、論理的な思考力だけでなく説明力も同時に養います。</p> <p>【現代文/25時間】ガイダンス(1時間)、現代文の出題ジャンル別解法(計4時間)、過去問演習(基礎編～実践編/計20時間)</p> <p>【古典/5時間】過去問演習(5時間)</p> <p>【英文/25時間】時制・受動態・助動詞・仮定法①②・不定詞①②・動名詞①②・関係代名詞・比較①②・接続詞・否定①②・分詞・話法・無主物主語/各1時間(計18時間)、演習(計7時間)</p> <p>【語彙/20時間】漢字①～④・四字熟語①～④・慣用句①②・ことわざ・故事成語/各1時間(計12時間)、演習(計8時間)</p> <p>【文芸/5時間】日本文学史(3時間)、西洋芸術(2時間)</p>				
成績評価の方法				
出席状況と週テストの成績により評価する。				
備考				
実務経験のある教員による授業。村山歌奈子は私立高校教員(国語科)として3年間勤務。霍口美枝は私立高校教員(英語科)として20年以上勤務。				

学群	G				
授業科目	社会科学B				
担当者	小宮 康				
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3
学期	前期				
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>社会科学Aと社会 I の受講を前提に、政治・経済分野について発展的に学びます。授業の基本的なコンセプトは社会科学Aと同じですが、1年次に身につけた基本的な知識を前提に、本試験で高得点を狙うとともに、時事的な事例に触れながら、学習内容を「活きた知識」に昇華させることを目標とします。</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					

学群	G			
授業科目	人文科学B			
担当者	小宮 康、福島 頌之			
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数 4
学期	前期			
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修			
授業内容・獲得目標				
<p>人文科学Aと社会 I の受講を前提に、「世界史」「日本史」「地理」の授業を発展的に行います。授業内容・意義などは人文科学Aと変わりませんが、週テストの満点・模擬試験の上位キープを前提に、本試験で確実に合格できるように授業に臨みましょう。</p> <p>【授業内容】 世界史: 44時間 ①古代史(7時間) ②中近世アジア史(9時間) ③中近世欧米史(8時間) ④近現代アジア史(10時間) ⑤近現代欧米史(10時間)</p> <p>日本史: 33時間 ①古代史(6時間) ②中世(8時間) ③近世(9時間) ④近現代(10時間)</p> <p>地理: 33時間 ①地形(7時間) ②気候(7時間) ③農業・工業・水産業(8時間) ④人口・都市・貿易(5時間) ⑤地誌(6時間)</p>				
成績評価の方法				
出席状況と週テストの成績により評価する。				
備考				
実務経験のある教員による授業。前職は私立高校教員(社会科)として2年間勤務。				

学群	G			
授業科目	自然科学B			
担当者	遠竹沙耶香、西索兄、内藤一則			
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数 4
学期	前期			
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修			
授業内容・獲得目標				
<p>1年前期の自然科学A、1年後期の理科 I を履修している前提で、物理・化学・生物・地学の授業を行います。基礎・基本は履修済みのため、原理や、より詳しい内容について理解を深めていきましょう。教科書の演習問題を授業中にすべて扱うことは時間の都合上できません。少し難しい問題もありますが、各単元が終了したら知識の定着のためにも解いてみてください。</p> <p>※すべての科目でプリントを使用します。必ず科目別にファイリングしてください。</p> <p>科目別の授業内容は以下の通りです(カッコ内は授業時数)</p> <p>物理(計30時間)…電気と電子(4)、音と光(2)、運動と力(9)、エネルギー(5)、演習(10)</p> <p>化学(計30時間)…物質の構成(4)、物質の性質(8)、物質の量(8)、演習(10)</p> <p>生物(計30時間)…生命の維持(7)、調節と反応(8)、生命の連続と展開(5)、演習(10)</p> <p>地学(計20時間)…地球(5)、宇宙(5)、気象(5)、演習(5)</p>				
成績評価の方法				
出席状況と週テストの成績により評価する。				
備考				

学群	H				
授業科目	表現B				
担当者	チューター				
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3
学期	前期				
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>表現Aの発展的な授業です。受講学生には、面接試験の主要質問項目について、「意見発表」ではなく、より深い職種理解と論理的考察、説得力のある発表態度に基づいた、「プレゼンテーション」を求めます。</p>					
成績評価の方法					
出席状況と発表内容により評価する。					

学群	H				
授業科目	実践演習B				
担当者	チューター				
授業の方法	演習	授業時数	50	単位数	2
学期	前期				
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>初級・高卒程度公務員試験向けの総合的な1次試験対策です。国家公務員型、市町村型、県庁・政令指定都市型など、公務員試験の類型に応じた実践演習問題を行います。</p>					
成績評価の方法					
出席状況と発表内容により評価する。					

学群	H				
授業科目	職種研究B				
担当者	チューター、橋本絵鯉子				
授業の方法	講義	授業時数	30	単位数	1
学期	前期				
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>職種研究Aの受講を前提とする総合的・実践的な2次試験対策の授業です。憲法や地方自治法を発展的に学び、「公務員の役割・本質」へのより深い理解を図ります。また、少子高齢化、防災、地域振興などについて、象徴的な国内の事例を紹介し、地域に求められていることは何かを考え、模擬面接を通して意見発表を行います。職種研究Aと同様、「面接スキル」についても取り上げ、模擬面接の質の向上を図ります。</p>					
成績評価の方法					
出席状況と発表内容、提出物により評価する。					
備考					
実務経験のある教員(橋本絵鯉子)による授業。(フリーアナウンサー)					